

# ぎふこくご

号外 平成二十一年八月二十七日 発行

## 国語教育、不易と流行と

中学校国語科研究会会長

平林 道博

私が勤めている瑞浪中学校には、校内ギャラリーとして、有名な画家の絵画や、書家の書が多く展示されている。

二十年ほど前、学校が新築されたとき、〇校長が中心となって整備を始めたものだ。その当時、私も、国語科の教師として、生徒が口ずさみ、心の中に刻み込んでほしい「言葉」を書きとして掲示する仕事を手伝った。そして、「中学生時代に覚えたい詩文三十六選」を国語科として選定し、折に触れては、生徒に暗唱させた。島崎藤村の「初恋」や宮沢賢治の「雨ニモマケズ」の詩。「方丈記」や「徒然草」など物語の冒頭の文章。さまざまな短歌や俳句。「偶成」

や「論語」などの漢詩や漢文。今、あらためてそれらの「言葉」を読み返すと、「言葉」がもつ魂が鮮やかによみがえってくる。

国語教育は変わらねばならない。しかし、「言葉がもつ美しい調べと魂」は「不易」のものとして、ずっと残していきたいと思う。

平成二十二年度の中国研東濃大会が、一年後に迫った。

公開授業を担当する瑞浪市において、七月九日、市内の国語科部員が集まり、公開授業に向けて意思統一と役割分担を行った。

瑞浪市すべての中学校の代表クラスを瑞浪中に集めて授業を行う  
国語科の三領域と一事項で七つの授業を公開する

などの方針を受け、市内の各学校がどの領域、どの学年で授業公開をするのかを決定した。さらには、伝統と文化への回帰という点から、地域に残る文芸を教材化した授業を提供したいといった意見も出されていた。「東濃らしさ」と「挑戦」のある授業が目指されており、うれしく思った。

また、多治見、土岐、恵那、中津川市が担当する実践発表についても、領域と発表者が決まり、実践のまとめと検証の段階を順調に迎えている。

役員ならびに各地区の国語科部員により、大会の準備が着々と進められていることに敬意と感謝を表したい。

前回の中国研東濃大会は、二十二年前、土岐市において開催された。その年昭和六十三年は、二回前の学習指導要領が公示される前年であった。

再び、新学習指導要領の改定と時期を同じくして、中国研東濃大会が開かれる。

国語教育の「不易と流行」と。何を変え、何を残すべきなのか。岐阜県中の国語科部員で、見極める大会にしたい。

### 東濃大会に向けて

中学校国語科研究会主務  
永井伸幸

二十二年度東濃大会実施にあたっての確認事項は以下の通りです。

- ・会場は瑞浪市立瑞浪中学校とする。
- ・大会は午後開催とし、授業公開、全体会、実践発表（実践発表者は中津川市・多治見市・恵那市・

土岐市から選出)を行う。

- ・瑞浪市内6校(瑞浪中・瑞陵中・釜戸中・稲津中・陶中・日吉中)それぞれ1クラスが瑞浪中学校に集まり、3領域1事項すべての授業公開を行う。
- ・地域教材を活用した授業を2つは公開する。

また、平成二十四年度新学習指導要領が施行されることを踏まえ、岐阜地区大会以後の実践に加え、十分に新学習指導要領の施行を見据えた実践にしていきたいと考えています。

さらに岐阜地区大会がそうであつたように来年度の県大会も、「東濃地区の研究を発表する大会」ではなく、「県下の研究を東濃地区の学校が代表して発表する大会」としていきましょう。そのためには、「県中国研」と「東濃地区の各校」と「東濃地区以外の郡市の各校」がいかに密接につながるかがポイントです。具体的には、大きく3つの

方法を考えています。

県中国研の各研究部のメンバーが、部長中心に、東濃地区や各郡市の授業研究会に参加する。

東濃地区及び各郡市の学校から、県中国研の各研究部会に(研究部員として)参加する。

中国研のHPを利用してネット上で情報交流する。

実際、、 については七月までに行えています。また、八月十八日には東濃地区の先生方と中国研研究部、役員とが集い、研究の進め方を確認する第2回東濃総会が行われます。九月以降もこれまで以上に活発な交流を行い、実践を重ねていきたいと考えています。各先生方のご協力よろしく願います。



## 平成二十一年度の研究と方向

「楽しくて、もっと学びたくなる国語の授業」をめざして  
 中学校国語科研究部会研究総括  
 富田泰仁

### 【研究主題】 明日に生きる言語 能力の育成

「確かな言葉の力」と「豊かな言語感覚」を鍛え、磨きあう国語教室の創造」

1、はじめに  
 平成二十二年度、東濃地区において「第二十回中国研県大会」が開催されます。平成二十一年度はいよいよ前年度としての準備の段階に入ってきています。岐阜県の国語教育の「今」が、東濃地区から発信されていく日まであと一年余りとなりました。そんな中、平成二十一年度の中国研の研究が始まっています。

それは東濃大会に発表される実践の「検証」をする一年です。今年度の研究主題は来年度の東濃大会でもそのまま主題となります。この主題を具体的にした授業こそが、岐阜県の国語のめざす授業であり、その先に「楽しくて、もっと学びたくなる国語の授業」があるのだと思います。言い換えれば、こうなります。

岐阜県の国語の授業とは、生徒が「楽しくて、もっと学びたくなる」授業である。

生徒が自ら「確かな言葉の力」と「豊かな言語感覚」を鍛え、磨きあっている授業である。

その授業の連続が「明日に生きる言語能力の育成」につながる。

一つ一つの言葉は大きなイメージのもので、理想とも言えるものですが、この一つ一つの言葉を、日々の授業に具体として

置き換えて実践していくこと。それを岐阜県全域に広めていくことこそ、東濃大会を行う意義になると考えます。

## 2、今年度の研究の方向

では、「楽しくて、もっと学びたくなる国語の授業」とは、どうすれば実現できるのか。そのために今年度取り組むことを整理すると、次のようになりま

す。  
、単位時間の授業の在り方を明らかにする。

なぜ？ 副主題にある「鍛え、磨きあう国語教室」や、昨年度のめざす方向となった「楽しくてもっと学びたくなる授業」を創造するために

どのように？ それぞれの領域・事項において例

えば教材の吟味、課題の吟味、発問の吟味等を行い、国語科における「探究型授業」の在り方を発信する。

具体的には？ 国語科における楽しさとは、教科の本質に他ならない。また言葉に対する興味・関心・追求を主体的に行うからこそ鍛え、磨くことができる。  
それを今一度単位時間の授業構成から考えてみる。

私達が日々行っている授業を、主題や副主題から見つめ直し、その主題を具現するための手立てや授業展開を考え、提案していきたくと考えています。

、各領域の部会が作成している「教材分析図」をさら

に充実させる。

それぞれの領域や単元構成に生かすことのできる、提案性のある教材分析図を作成します。中国研には今、「話すこと・聞くこと部会」「書くこと部会」「読むこと部会」「言語事項部会」という四つの部会が存在します。これまでの各部会の実践の大きな柱として、各領域の側面から捉えた「教材分析図」を作成してきました。例えば教材は同じでも、それを領域ごとに指導することに当てはめると捉えや指導することは変わってきます。各部会がこれまでの実践の中で、領域の特徴を踏まえた教材分析図ができあがっています。これは来年度の東濃大会での実践集録に掲載されています。私達はその教材を各領域でどのように扱うのが、この分析図で明らかになります。当日の授業の指導案でも分析図は資料となります。でもぜひ東濃大会に足を運んでいただき、分

析図からも授業を参観していただきたいと思えます。

、実生活、実社会に生きる題材や言語活動の開発を図る。

単元の開発がメインである。ちなみに東濃大会の授業の単元内容も、地域の学習材を活用していく予定です。どの地域にも国語の教材となりうる物語や作品があるはず。東濃大会では地域教材を生かした授業公開が行われていきます。岐阜県の国語実践の新たな可能性になると思えます。

、教科の本質に基づいた学習集団の高まりをめざす。

単位時間の授業の中で集団が言葉を通して「鍛え、磨きあう」過程を位置付けることで、研究主題を具現化していきます。授業の中で「教師が与えている」というよりは、課題に対して「さらに深く考えてみたい」と思わ

せる課題設定や発問、深めるための発問を考えていきたいと思っています。

、新学習指導要領への移行を見据えた「明日に生きる言語能力の具体化一覧表」及び「評価計画表」の更新、修正を行う。

来年度の東濃大会では、新学習指導要領を指導事項を意識した授業公開を行います。東濃大会の授業では、単元の評価規準等にも反映されているようにしていきたいと思えます。

これらの研究を、各部会のテーマに落とし込んで実践を重ねていきます。主題を受けて、各領域の部会や各都市のテーマが決まっているはずで、その具体を実践として残していくことが、研究を進めていくこととなります。よろしくお願い致します。

### 3、岐阜県のすべての国語教師の皆様方へ

(1)各都市の中国研代議員の先生方へ

「明日に生きる言語能力の育成」がそのまま都市のテーマになっている部会もあれば、都市で新たにテーマ設定をされている部会もあるかと思えます。各都市では今、第一回の教科研が終わったくらいではないかと思えますが、今後の授業研や実践をまとめられる中で、前述の項目を意識して進めていただけるとありがたいです。(例えば教材分析図を授業者が作成し、それを授業研での話題としてみるなど)その実践が、中国研のテーマを受けての実践そのものとなりますし、すべての先生方が同じ視点で研究を進

めていくこととなります。各都市の実践が、来年の東濃大会の礎となります。

(2)各領域の部員の先生方へ

各領域において部員として活躍されている先生方は、個人のもたれるテーマそのものも中国研や領域を意識したものとなると思えます。ぜひ研究を進めていただきたいと思います。特に実践集録の中にその具体があったり、部として研究授業等で、また東濃地区の先生方のサポートとして共に授業について考える機会があります。ぜひご自分の実践を礎として、たくさんの方の意見が交わされるよう、テーマを意識した研究を進めていただきたいと思います。

(3)岐阜県のすべての国語教師の皆様へ

私ももちろんのこと、日々の授業で生徒に力をつけさせようと思った時、悩むことや試行錯誤は多いです。「どうしたらもっと授業を分かりやすくできるだろう」「生徒が力をつけることができる授業にするために、どんなことを気をつけていったらよいのだろう」

そういう時に、中国研の実践や研究がよりどころとなるといいと思えます。すべての都市の、全ての部会の実践が、中国研という組織を通してつながるようになっていけたらと思います。何卒ご協力程よろしくお願い致します。

平成二十一年度 県中国研 代議員名簿

15	関市	高井悦子	緑ヶ丘中	30	大野郡	野島将也	白川中
14	揖斐郡	高橋真由美	揖東中	29	下呂市	青木麻由美	小坂中
13	安八郡	森田孝一	東安中	28	飛騨市	鈴木玲子	古川中
12	不破郡	高木規子	今須中	27	高山市	可児慎吾	松倉中
11	養老郡	櫻井純子	東部中	26	中津川市	梶屋明広	第一中
10	海津市	側島逸男	平田中	25	恵那市	小島光太郎	恵那西中
9	大垣市	山田剛	西部中	24	瑞浪市	水野寛大	瑞浪中
8	本巣郡	(本巣市の代議員が兼務する)		23	土岐市	伊藤瞳	泉中
7	羽島郡	木村由紀	岐南中	22	多治見市	加藤明子	平和中
6	本巣市	内田誠司	真正中	21	可児郡	森加代子	共和中
5	瑞穂市	河田剛延	穂積中	20	加茂郡	古市有紀	八百津中
4	山県市	宇野真由美	高富中	19	可児市	田口宏	蘇南中
3	各務原市	高井梨絵	中央中	18	美濃加茂市	山本由季子	双葉中
2	羽島市	川村宗生	羽島中	17	郡上市	福手真	白鳥中
1	岐阜市	山口政有	東長良中	16	美濃市	井上宏文	美濃中
番	郡市名	氏名	在勤校名	番	郡市名	氏名	在勤校名



平成二十一年度 県中国研 本部役員・研究部員名簿

会長 平林 道博 瑞浪市立瑞浪中学校  
 副会長（岐阜） 二村 一洋 羽島市立中央中学校  
 副会長（西濃） 和田 満 垂井町立北中学校  
 副会長（美濃） 山田 照義 郡上市立西和良中学校  
 副会長（可茂） 井上 光彦 御嵩町立上之郷中学校  
 副会長（東濃） 渡辺 敏博 瑞浪市立瑞陵中学校  
 副会長（飛騨） 諸屋 憲治 高山市立久々野中学校  
 評議員 安田 英士 岐阜大学教育学部附属中学校  
 会計監査 西田 拓郎 関市立旭ヶ丘中学校  
 会計監査 木股 一朗 恵那市立明智中学校

【事務局】

主務者 永井 伸幸 郡上市立大和中学校  
 会計部長 内田 誠司 本巢市立真正中学校  
 総務部長 加知 昌彦 多治見市立陶都中学校  
 部長 河田 剛延 瑞穂市立穂積中学校  
 部長 松岡 麻美 瑞穂市立穂積中学校  
 部長 井深 誠 岐阜大学教育学部附属中学校  
 部長 松永健一郎 岐阜大学教育学部附属中学校  
 部長 遠山 健二 岐阜大学教育学部附属中学校  
 部長 安田 芳夫 大垣市立北中学校  
 部長 岸 浩道 岐阜市立境川中学校  
 部長 伊藤 雄樹 岐阜市立加納中学校  
 部長 五島 未希 岐阜市立加納中学校  
 部長 松村 香里 岐阜市立加納中学校

研究 総括 富田 泰仁 大垣市立星和中学校  
 副総括 曾我部領史 本巢市立本巢中学校  
 副総括 西尾 新 土岐市立泉中学校  
 話す聞く部長 布施 力 岐阜市立陽南中学校  
 書く部長 高橋 直浩 岐阜市立岐北中学校  
 読む部長 富山 哲成 岐阜市立不破中学校  
 言語事項部長 内田 誠司 本巢市立真生中学校

話す聞く部員

高木勇人（青山中） 山口政有（東長良中） 野々村真理子（岩野田中）  
 荒井貴行（陽南中） 洞戸舞子（西和良中） 中島芽衣子（精華中）  
 加納玲子（西陵中） 松原敦也（坂本中） 塚本陽治（大垣西部中）  
 高橋 篤（星和中）

書くこと部員

伊藤妙子（長良中） 大西隆博（長森中） 高橋友之（東長良中）  
 奥田晋也（中部中） 井上宏文（美濃中） 今井啓文（八幡中）  
 松井一文（武儀中） 吉川由美（平和中） 細江隆一（駄知中）  
 中井梨香（北陵中）

読むこと部員

平野栄子（島中） 長谷川圭奈（東長良中） 上村光一（東長良中）  
 丹羽宏樹（青山中） 酒向由美子（蘇原中） 山口明美（陽南中）  
 河田剛延（穂積中） 佐々木真（苗木中） 柘淵容子（肥田中）  
 愛知慶介（古川中）

言語事項部員

深尾寛（長良中） 関雅俊（岐阜西中） 加藤寿志（赤坂中）  
 吉永康昭（黒川中） 三品美里（泉中）